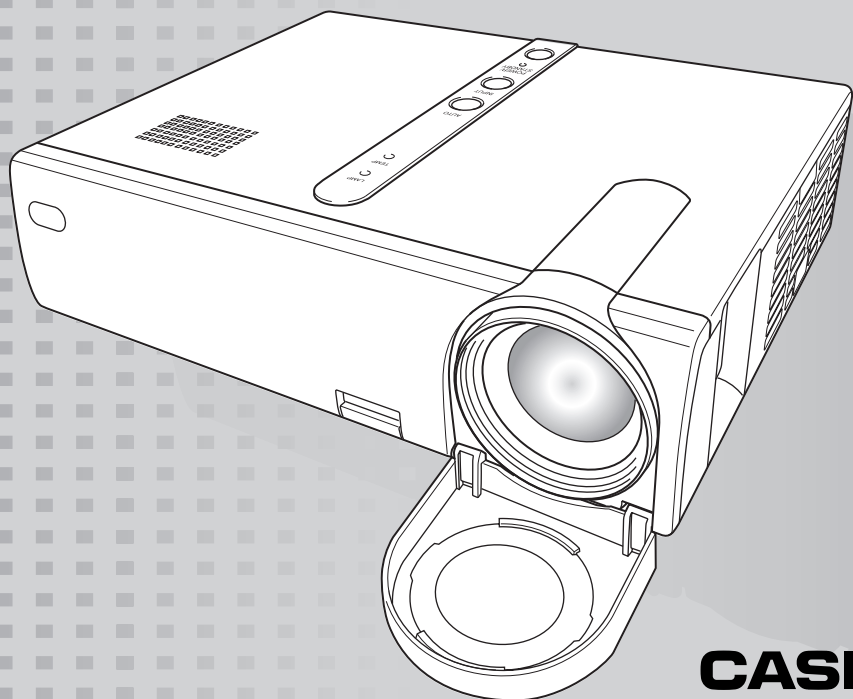
JZ

DATA PROJECTOR XJ-360

データプロジェクター

取扱説明書(拡張編)

- 必ず、印刷物の取扱説明書(基本編)の注意事項をお読みになってからご使用ください。また、設置方法／ランプ交換方法に関しても、取扱説明書(基本編)をご覧ください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

CASIO®

- Digital Light Processing™、DLP™、Digital Micromirror Device™、DMD™は、米国テキサス・インスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft, Windows, Windows NT, Windows XP, Windows ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple およびMacintosh は米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。

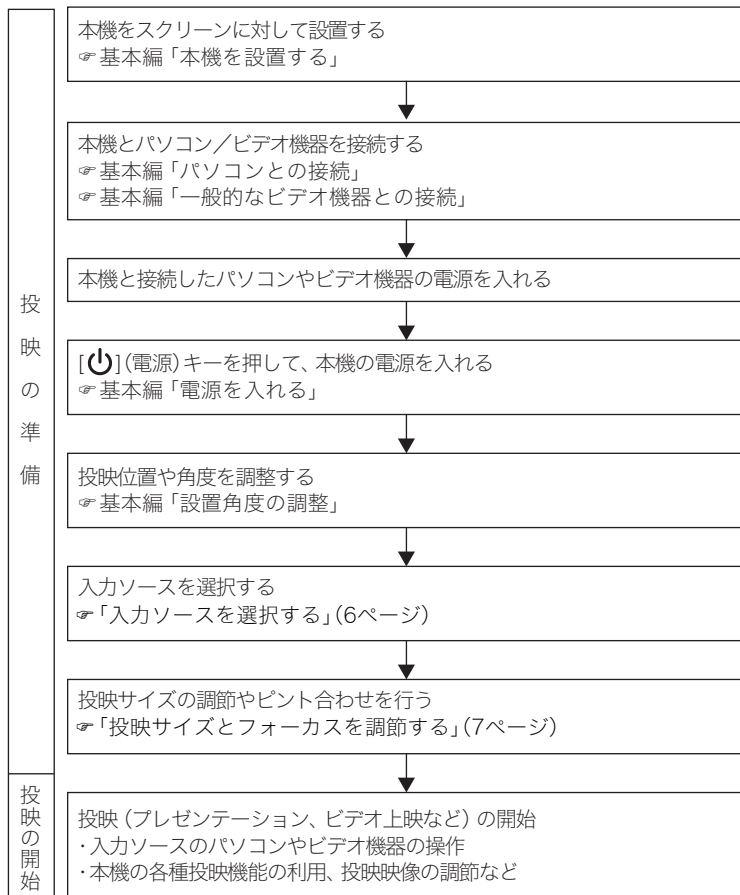
目　次

各種の投映操作

スクリーンに投映する

本機を使った基本的な投映操作について説明します。

投映を開始するまでの基本的な操作の流れ

本機からの投映は、以下の流れで行います。

入力ソースの自動検索について

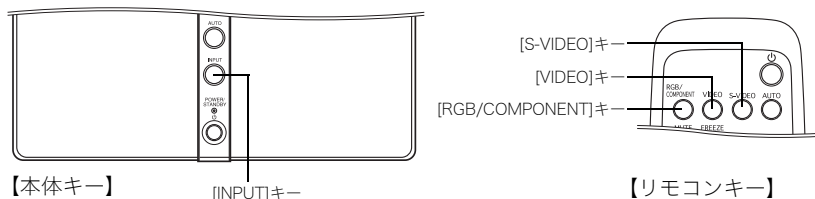
本機の電源を入れると、以下の順で入力ソースの状態(各入力端子への入力信号があるかどうか)をチェックし、最初に入力信号が見つかった入力ソースを選択して投映を行います。

例えば、本機のRGB入力端子にパソコンを接続し、S-VIDEO入力端子にビデオデッキを接続した状態で、両方からの入力信号がある場合、本機の電源を入れた時点では自動的にRGB入力が選択されます。選択された入力ソース名は、投映画面の右上に表示されます。

メモ

- どの入力ソースからも入力信号がない場合は、入力ソース名表示の下に「入力信号がありません。」と表示されます。
- RGB入力端子への入力に対応した入力ソース名は、設定メニューの「詳細設定→高度な設定2→RGB入力」(☞41ページ)の設定に応じて、次のように表示されます。
  設定が「自動」の場合: RGB入力端子への入力信号がRGB信号の場合は「RGB」、コンポーネント信号の場合は「コンポーネント」と表示されます。
  設定が「RGB」の場合: 「RGB」と表示されます。
  設定が「コンポーネント」の場合: 「コンポーネント」と表示されます。
- 本機の設定メニューの「詳細設定→高度な設定1→自動入力検索」(☞38ページ)を「オフ」に設定している場合は、入力ソースの自動検索は行われません。

入力ソースを選択する

本体のキーを使う場合と、リモコンのキーを使う場合では操作が異なります。

- 本体のキーを使って入力ソースを切り替えるには、[INPUT]キーを押します。キーを押すごとに、次のように入力ソースが切り替わります。

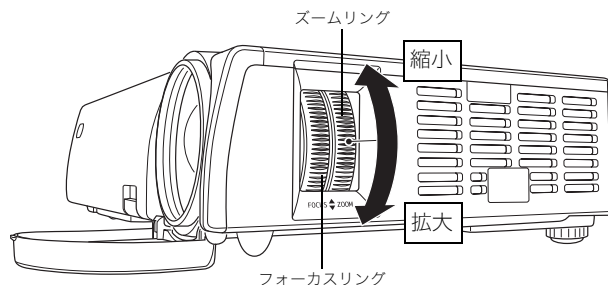
- リモコンのキーを使って入力ソースを選択する場合は、入力ソースに対応したキー（[RGB/COMPONENT]キー、[VIDEO]キー、[S-VIDEO]キーのいずれか）を押すことで、直接入力ソースを選択できます。

現在選択されている入力ソースが、投映画面の右上に表示されます。

メモ

- 選択した入力ソースからの入力信号がない場合は、入力ソース表示の下に「入力信号がありません。」と表示されます。
- 入力ソースとしてRGB/コンポーネントを選択した場合の入力ソース名は、設定メニューの「詳細設定→高度な設定2→RGB入力」（☞41ページ）の設定に応じて「RGB」または「コンポーネント」と表示されます。詳しくは、「入力ソースの自動検索について」（☞5ページ）のメモをご覧ください。

投映サイズとフォーカスを調節する

ズームリングとフォーカスリングを使うことで、投映サイズの調節とフォーカス調節（ピント合わせ）を行うことができます。

メモ

- 静止画を投映して調節することをおすすめします。
- ピントを調節後に投映サイズを調節すると、ピントがずれる場合があります。その場合は再度ピントを合わせてください。

RGB入力の映像の自動調整について

入力ソースを切り換えてRGB（パソコンからの入力）を選択した際や電源投入時などに、本機がRGB信号を検出すると、投映映像の垂直／水平位置、周波数、位相を自動的に調整します。また、入力ソースとしてRGBが選択された状態では、[AUTO] キーを押して自動調整を実行することができます。

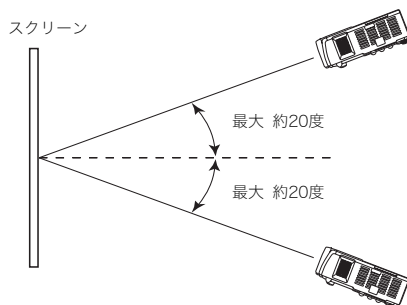
メモ

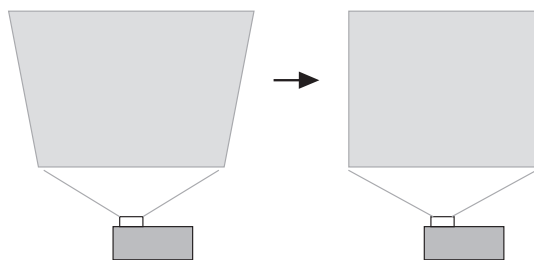
- 手動で調整した値を保持したい場合は「詳細設定→高度な設定1→自動調整」をオフにしてください。（☞39ページ）
- 自動調整中は画像が乱れることがあります。
- 自動調整を行っても、位置がずれていたり映像が乱れる場合は、設定メニューを使って手動で調整を行ってください。詳しくは「信号調整」（☞29ページ）で、垂直位置／水平位置／周波数／位相の各項目を参照してください。

台形歪みを補正する（KEYSTONE）

本機と投映するスクリーンの角度によって、投映映像が歪み、長方形にならない場合があります。本機はこの「台形歪み」を、自動または手動で補正する機能を備えています。台形歪み補正が可能な本機のスクリーンに対する角度は、以下の通りです。

重要!

- 図で示した角度の範囲は、次の条件によるものです。
  - パソコンからの投映時（解像度：1024×768、垂直周波数：60Hz）
  - 全画面表示をオンに設定
- 投映信号の種類、ズームの倍率、全画面表示の設定状態、アスペクト比の設定など、ご使用の条件によって、補正可能な範囲は変わる場合があります。
- 台形補正が行われた投映画面は、スクリーンに対する投映角度によって小さくなったり、画質が乱れることがあります。投映画面が見づらい場合は、スクリーンに対する本機の設置位置を、可能な限り取扱説明書（基本編）の「本機を設置する」で図示されている状態に近くなるようにしてください。
- 横方向の台形歪みは補正できません。本機の投映レンズの中心とスクリーンの左右方向の中央位置が一致するように設置することをお勧めします（基本編「本機を設置する」を参照）。

自動台形補正について

自動台形補正機能は、縦方向の台形歪みを自動的に調節するもので、本機の縦方向の傾きを変更しても、投映映像が長方形になるように自動的に補正が行われます。自動台形補正が行われると、投映画面の中央下に「自動台形補正が行われました。」と表示されます。

メモ

- 自動台形補正は本機の傾きを検出して行うため、投映するスクリーンや壁面などが地面に垂直な場合に限り有効です。傾いたスクリーンなどに投映する場合は、手動で台形補正を行ってください。
- 自動台形補正機能のオン／オフを切り替えることができます。詳しくは「詳細設定→高度な設定1→自動台形補正」（☞38ページ）の項目を参照してください。

手動台形補正について

縦方向の台形補正を手動で行うことができます。

手動で台形補正を行うには

1. [KEYSTONE]キーを押します。

- 投映画面上に「台形補正」画面が表示されます。

2. [◀]キー／[▶]キーを押して、補正を行います。

- [◀]キー／[▶]キーを押すごとに「台形補正」画面上の選択項目のバーが左右に動きます。
- 補正値はバーが左右に動く範囲で設定可能です（バーは必ずしも右端／左端までは移動しません）。

3. 設定画面を消すには、「閉じる」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押します。

- [ESC]キー（または[KEYSTONE]キー）を押しても、設定画面を消すことができます。

カラーモードを使う(COLOR MODE)

投映する映像がどのような特徴か(主にテキストかグラフィックかといった特徴)に応じた、最適な色調を選ぶことができます。

映像に適した色調を選ぶには

1. [COLOR MODE]キーを押します。
- 投映画面上に「カラーモード」画面が表示されます。●印は、現在選択されている項目を表します。

- 画面上の各選択項目について詳しくは「映像調整→カラーモード」(☞27ページ)をご覧ください。

2. [▲]キー／[▼]キーを押して希望の選択項目にカーソルを移動し、[ENTER]キーを押します。
- ●印がカーソル位置の選択項目に移り、設定の変更が反映されます。

3. 設定画面を消すには、「閉じる」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押します。
- [ESC]キー(または[COLOR MODE]キー)を押しても、設定画面を消すことができます。

音量を調節する（VOL ＋/－）

本機のスピーカーからの出力音量を、リモコンのキーを使って調節することができます。

音量を調節するには

1. リモコンの[VOL ＋]キーまたは[VOL －]キーを押します。
- 投映画面上に「音量」画面が表示されます。

2. [VOL ＋]キー（または[▶]キー）を押すと音量が大きくなり、[VOL －]キー（または[◀]キー）を押すと音量が小さくなります。

3. 設定画面を消すには、「閉じる」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押します。
- [ESC]キーを押しても、設定画面を消すことができます。

映像と音声を一時的に消す（MUTE）

入力ソースからの映像と、本機のスピーカーからの音声出力を一時的に消すことができます。この映像と音声を消去した状態を「ミュート状態」と呼びます。

映像と音声をミュート状態にするには

1. リモコンの[MUTE]キーを押します。
- 投映画面全体がブラック画面となり、スピーカーからの出力音声が消音されます。

2. ミュート状態から復帰するにはリモコンの[MUTE]キー（または[ESC]キー）を押します。

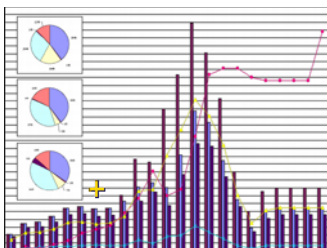
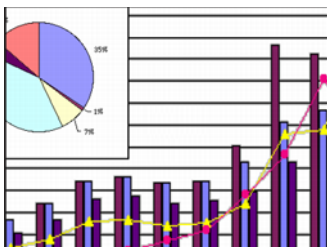
映像を拡大する（D-ZOOM ＋/－）

投映中の映像の一部を、リモコンのキーを使って拡大表示することができます。

投映映像の一部を拡大するには

1. リモコンの[D-ZOOM ＋]キーまたは[D-ZOOM －]キーを押します。

- 投映画面に十字カーソル（✚）が表示されます。

2. リモコンのカーソルキー（[▼] [▲] [▶] [◀]）を使って、拡大したい位置の中心点に十字カーソルを移動します。

3. リモコンの[D-ZOOM ＋]キーを押して拡大します。

- [D-ZOOM ＋]キーを押すごとに拡大率が1段階上がります。拡大率が最大になると、[D-ZOOM ＋]キーを押しても変化しなくなります。
- 拡大中は、[D-ZOOM －]キーを押すごとに拡大率を1段階下げることができます。
- 拡大中にリモコンのカーソルキー（[▼] [▲] [▶] [◀]）を使って、拡大映像を上下左右に移動することができます。

4. 拡大表示状態を解除するには、リモコンの[ESC]キーを押します。

- 通常の表示状態に戻ります。

メモ

- [D-ZOOM] キーによる投映画像の拡大は、RGB信号を投映しているときのみ行えます。

投映中の映像を静止させる(FREEZE)

投映中の映像を、キーを押した時点で本機のメモリに取り込み、静止画として表示することができます。見かけ上は、投映中の映像がキーを押した時点で静止したように見えます。この静止画の投映状態を「フリーズ状態」と呼びます。

映像をフリーズ状態にするには

1. リモコンの[FREEZE]キーを押します。
- 投映映像が、キーを押した時点の映像で静止します。

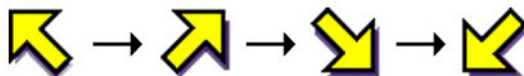
2. フリーズ状態から復帰するにはリモコンの[FREEZE]キー(または[ESC]キー)を押します。

ポインターを表示する

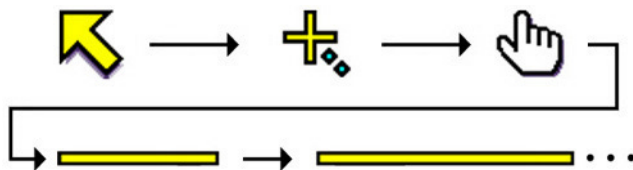
投映画面上に矢印やバーなどの「ポインター」を表示することができます。プレゼンテーション中に画面上の特定位置を強調したい場合などに役立ちます。

ポインターを表示するには

[POINTER/SELECT]キーを押すと、投映画面にポインターが表示されます。

ポインターの表示中は、次の操作が可能です。
- [STYLE]キー(ポインターの表示中は、[ENTER]キーが[STYLE]キーとして働きます)を押すと、ポインターが回転したり、点滅するなど変化します。
  例えば矢印型のポインターの場合は、[STYLE]キーを押すごとに向きが４通りに変化します。

- カーソルキーを押すと、押したキーの方向にポインターが移動します。１つのカーソルキーを押したままにすると、ポインターを連続的に移動させることができます。

ポインターの種類を選ぶには

ポインターの表示中に[POINTER/SELECT]キーを押すたびに、ポインターの種類が次のように切り替わります。

ポインターを消すには

ポインターの表示中に[ESC]キーを押すと、ポインターが消えます。

設定メニューの利用

設定メニューの概要

投映中に、[MENU]キーを押して投映画面に表示される「設定メニュー」を使って、本機のさまざまな基本設定を行うことができます。設定メニューの項目は、下表の通りです。

メインメニュー	サブメニュー	操作タイプ *1	入力ソース *2					参照ページ
			R	C	S	V	無信号	
映像調整	明るさ	値設定型	○	○	○	○	×	26ページ
	コントラスト	値設定型	○	○	○	○	×	26ページ
	シャープネス	値設定型	○	○	○	○	×	26ページ
	色の濃さ	値設定型	×	○	○	○	×	26ページ
	色合い	値設定型	×	○	*3	*3	×	26ページ
	カラーモード	次画面型	○	○	○	○	×	27ページ
	カラーバランス	次画面型	○	○	○	○	×	28ページ
	映像調整の初期化	実行型	○	○	○	○	×	28ページ
信号調整	垂直位置	値設定型	*5	×	×	×	×	29ページ
	水平位置	値設定型	*5	×	×	×	×	29ページ
	周波数	値設定型	*5	×	×	×	×	29ページ
	位相	値設定型	*5	×	×	×	×	29ページ
	ノイズフィルタ	選択肢型	*5	×	×	×	×	30ページ
	信号調整の初期化	実行型	*5	×	×	×	×	30ページ
画面設定	台形補正	値設定型	○	○	○	○	○	30ページ
	アスペクト比	選択肢型	×	*4	○	○	×	31ページ
	全画面表示	選択肢型	○	×	×	×	×	32ページ
	投映方法	選択肢型	○	○	○	○	○	33ページ
	天吊投映 *11	選択肢型	○	○	○	○	○	33ページ
	画面設定の初期化	実行型	○	○	○	○	○	34ページ

*1　各項目の操作のタイプを表しています。タイプごとの操作方法については、それぞれ下記を参照してください。

値設定型　:数値を指定するタイプ　(☞21ページ)
選択肢型　:選択肢から選ぶタイプ　(☞21ページ)
次画面型　:別画面で数値指定や選択を行うタイプ　(☞22ページ)
実行型　:初期化を実行するタイプ　(☞23ページ)
情報表示型　:情報の表示のみを行うタイプ　(☞23ページ)

*2　R: RGB入力、C: コンポーネント入力、S: S-VIDEO入力、V: VIDEO入力、無信号:入力信号なし、を表します。表中の○は入力信号に対して有効なメニュー項目、×は無効なメニュー項目です。

*3　入力信号がNTSCまたはNTSC4.43の場合のみ設定可能です。

*4　入力信号のアスペクト比が4:3の場合のみ設定可能です。

*5　デジタルズームを使っていない場合のみ設定、または実行可能です。

設定メニューの利用

メイン メニュー	サブメニュー		操作タイプ	入力ソース					参照ページ
				R	C	S	V	無信号	
詳細設定	音量		値設定型	○	○	○	○	*6	34ページ
	ポインター		次画面型	○	○	○	○	○	34ページ
	静音モード		選択肢型	*12	*12	*12	*12	*12	35ページ
	パワーオンパスワード		専用操作 *11	○	○	○	○	○	35ページ
	パスワードの変更		専用操作 *11	○	○	○	○	○	35ページ
	高度な設定1								
		自動入力検索	選択肢型	○	○	○	○	○	38ページ
		自動台形補正	選択肢型	*13	*13	*13	*13	*13	38ページ
		自動調整	選択肢型	○	×	×	×	*7	39ページ
		メッセージ表示	選択肢型	○	○	○	○	○	39ページ
		スタート画面	選択肢型	○	○	○	○	○	40ページ
		無信号時画面	選択肢型	○	○	○	○	○	40ページ
	高度な設定2								
		オートパワーオフ	選択肢型	○	○	○	○	○	41ページ
		RGB入力	次画面型	○	○	×	×	*8	41ページ
		ビデオ信号	次画面型	×	×	×	○	*9	42ページ
		Sビデオ信号	次画面型	×	×	○	×	*10	42ページ
		画質補正1	選択肢型	○	○	○	○	×	42ページ
		画質補正2	選択肢型	○	○	○	○	×	42ページ
		言語	次画面型	○	○	○	○	○	43ページ
	詳細設定の初期化		実行型	○	○	○	○	○	43ページ
情報	ランプ使用時間		情報表示型	○	○	○	○	○	44ページ
	入力信号		情報表示型	○	○	○	○	○	44ページ
	信号名		情報表示型	○	○	○	○	×	44ページ
	解像度		情報表示型	○	×	×	×	×	44ページ
	水平周波数		情報表示型	○	○	○	○	×	44ページ
	垂直周波数		情報表示型	○	○	○	○	×	44ページ
	走査方式		情報表示型	○	○	×	×	×	44ページ
	全初期化		実行型	○	○	○	○	○	44ページ
	ランプ使用時間の初期化		実行型	○	○	○	○	○	44ページ

*6　選択されている入力ソースに対して設定を行います。
*7　RGB入力選択時のみ設定可能です。
*8　RGB/コンポーネント入力の選択時のみ設定可能です。
*9　VIDEO入力選択時のみ設定可能です。
*10　S-VIDEO入力選択時のみ設定可能です。
*11　その他のタイプと異なる専用の操作を行います。
*12　「天吊投映」がオンに設定されている場合に限り、「静音モード」の設定は無効です。
*13　「天吊投映」がオンに設定されている場合、「オン」の設定は無効です。

各設定項目と入力ソースの関係について

設定メニューを使った各種の設定は、設定メニューを表示した時点で選択されている入力ソース（RGB入力、コンポーネント入力、S-VIDEO入力、VIDEO入力）に対して行われます。次の点にご留意ください。

- 設定メニューに表示される項目は、選択されている入力ソースなどに応じて変化します。特定の入力ソースに特有の設定項目や、複数の入力ソースに共通する設定項目があります。
- 複数の入力ソースに共通する設定項目の場合、入力ソースに応じて設定可能な値域や、選択可能な項目が異なる場合があります。
- 複数の入力ソースに共通する設定項目には、各入力ソースごとに個別に設定値が保持されるタイプと、すべての入力ソースに対して共通する1つの設定値が保持されるタイプのほぼ２種類に分かれます（一部例外を除く）。例えば音量設定は各入力ソースごとに設定値が保持されますが、台形補正設定はすべての入力ソースに共通した設定値が保持されます。

- 各入力ソースごとに個別に設定値が保持されるタイプの設定項目では、入力ソースがコンポーネント信号の場合、次の(1)〜(3)の信号の種類ごとに設定値が保持されます。

  （1）480i60 と 576i50　　（2）480p60 と 576p50　　（3）1080i60 と 720p60

  例えば480i60のコンポーネント信号が入力ソースのときに「映像調整→明るさ」の設定を変更すると、576i50のコンポーネント信号が入力ソースのときにもその設定変更が反映されます。しかし、この変更は480p60や1080i60には反映されません。

メモ

- 入力ソースに応じた各設定項目ごとの保持のしかたなど詳細は、「設定メニュー項目詳細」（☞26ページ）を参照してください。

設定メニュー画面の基本操作

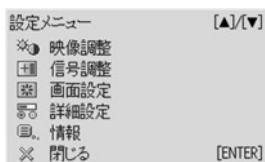
設定メニュー画面を使った本機の各種設定操作について操作タイプごとに説明します。

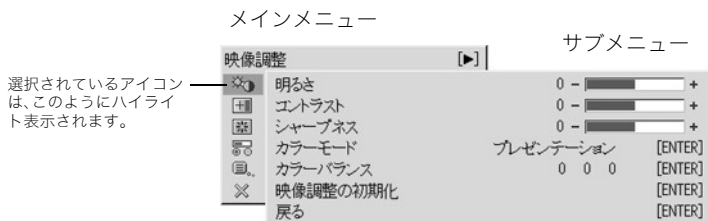
設定メニュー画面の基本操作

設定メニュー画面を使った各種設定の基本的な操作の流れは次の通りです。

1. 設定を行う入力ソースを選択します。

2. [MENU]キーを押します。

● 投映画面の左上に設定メニュー画面が表示されます（この時点では、メインメニューだけが表示されます）。

3. [▼]キーを押します。

● メインメニューの「映像調整」が選択された状態となり、映像調整のアイコンがハイライト表示（他の項目と異なる色で強調表示）されます。
また映像調整メインメニュー内のサブメニューが、右側に表示されます。

● サブメニューとして表示される項目は、手順１で選択した入力ソースや、その入力ソースからの入力信号の有無によって変化します。詳しくは「設定メニューの概要」（☞15ページ）の一覧表を参照してください。

4. [▼]キー／[▲]キーを押してハイライト表示の位置を移動し、希望のメインメニューを選択します。

● 選択したメインメニュー内のサブメニューが、右側に表示されます。

5. [▶]キー（または[ENTER]キー）を押します。

● 手順4で選択したメインメニュー内の、一番上のサブメニューが選択された状態となり、ハイライト表示されます。

6. 設定を行いたいサブメニューを選択します。

● [▼]キー／[▲]キーを押してハイライト表示の位置を移動し、希望のサブメニューを選択します。

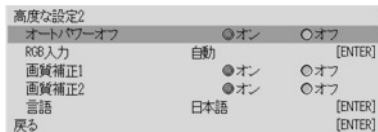
高度な設定１と高度な設定２について

詳細設定メインメニュー内のサブメニュー「高度な設定１」と「高度な設定２」の２項目には、複数のサブメニュー項目が含まれています。これら２項目内に含まれるサブメニューを選択する場合は、次の操作を行います。

(1) [▼]キー／[▲]キーを押して、ハイライト表示を「高度な設定１」（または「高度な設定2」）の位置に移動します。

(2) [ENTER]キーを押します。

● メインメニュー表示が閉じて、次のような専用のサブメニュー画面表示に切り替わります。

「高度な設定１」内のサブメニュー

「高度な設定２」内のサブメニュー

(3) [▼]キー／[▲]キーを押してハイライト表示の位置を移動し、希望のサブメニューを選択します。

7. 選択したサブメニューに応じて、数値の変更や選択肢からの選択などの操作を行います。

- 操作のしかたはサブメニューの「操作タイプ」によって異なります。操作タイプについては「設定メニューの概要」（☞15ページ）を参照してください。
- 各操作タイプに応じた操作方法については、「サブメニューの操作について」（☞21ページ）を参照してください。
- ひとつのサブメニューに対する設定操作を行った後、[▼]キー／[▲]キーを使って別のサブメニューを選択して、連続して設定操作を行うことができます。
- 別のメインメニューを選択したい場合は、「戻る」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押すか[ESC]キーを押して、手順4～手順7の操作を行います。

8. 設定メニュー画面を消すには、メインメニューの「閉じる」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押します。

メモ

- 設定メニューの表示中に[MENU]キーを押すと、現在表示中のメニュー階層にかかわらず、設定メニューは消えます。

サブメニューの操作について

サブメニューの各操作タイプ（値設定型／選択肢型／次画面型／実行型／情報表示型）に応じた設定操作について説明します。

値設定型のサブメニュー

サブメニューの横に数値とバーグラフが表示されているタイプです。

例　：　映像調整→明るさ、画面設定→台形補正など

操作：　[◀]キーを押すと数値が小さくなり、[▶]キーを押すと数値が大きくなります。バーグラフのバーが左右に動く範囲で調節可能です（バーは必ずしも右端／左端までは移動しません）。

選択肢型のサブメニュー

サブメニューの横に選択肢が表示されているタイプです。

例　：　画面設定→アスペクト比、詳細設定→高度な設定1→自動台形補正など

操作：　現在選択されている項目に●印が付いており、選択していない項目には○印が付いています。[◀]キー／[▶]キーを使って、選択可能な項目の間で●印の付いた項目を切り替えることができます。

メモ

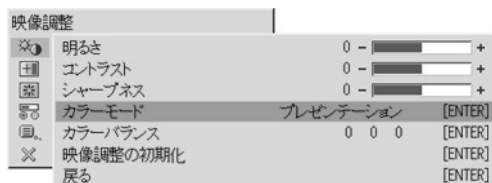
● 個別のサブメニューごとの選択可能な項目や、それぞれの意味について、詳しくは「設定メニュー項目詳細」（☞26ページ）を参照してください。

次画面型のサブメニュー

サブメニューの設定を専用の次画面で行うタイプです。

例　：　映像調整→カラーモード、詳細設定→高度な設定2→言語など

操作：　映像調整→カラーモードの場合を例に、操作手順を説明します。

1. 「設定メニュー画面の基本操作」(18ページ)の手順1～6の操作で、映像調整メインメニュー内のサブメニュー「カラーモード」を選択します。

2. [ENTER]キーを押します。

● 次画面として、カラーモードの設定画面が表示されます。

3. [▼]キー／[▲]キーにより選択したい項目へカーソルを移動させ、[ENTER]キーを押して項目を選択します。

4. この項目の設定を終了して元のサブメニューに戻るには、「戻る」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押すか、[ESC]キーを押します。

● 設定メニューの操作を終了するには[MENU]キーを押します。

メモ

● 次画面型のサブメニューでは、サブメニューごとに次画面に表示される設定項目や操作が異なります。個別のサブメニューについて、詳しくは「設定メニュー項目詳細」(☞26ページ)を参照してください。

実行型のサブメニュー

設定値の初期化を実行するタイプのサブメニューで、映像調整→映像調整の初期化、情報→ランプ使用時間の初期化などが該当します。サブメニューの操作については、以下で個別に説明します。

☞ 設定の初期化について（24ページ）
☞ ランプ使用時間の初期化（44ページ）

情報表示型のサブメニュー

本機の状態や設定情報を表示するサブメニューで、情報→ランプ使用時間、情報→入力信号、情報→信号名、情報→解像度、情報→水平周波数、情報→垂直周波数、情報→走査方式の各項目が該当します。表示される情報については、以下を参照してください。

☞ 情報→ランプ使用時間（44ページ）
☞ 情報→入力信号（44ページ）
☞ 情報→信号名（44ページ）
☞ 情報→解像度（44ページ）
☞ 情報→水平周波数（44ページ）
☞ 情報→垂直周波数（44ページ）
☞ 情報→走査方式（44ページ）

設定の初期化について

設定メニューで変更した各種の設定情報を、各メインメニュー単位、またはすべてのメインメニューに含まれる全サブメニューを対象として初期化することができます。

メインメニュー単位で設定を初期化するには

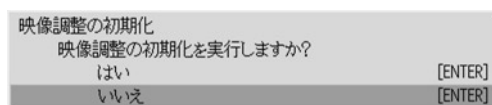
映像調整の初期化を例に、操作手順を説明します。

重要!

- 以下の操作を行うと、選択した入力ソースに対する映像調整メインメニュー内のすべてのサブメニュー設定情報が初期化されます。

1. 「設定メニュー画面の基本操作」(18ページ)の手順1～6の操作を行い、続いて映像調整メインメニュー内のサブメニュー「映像調整の初期化」を選択します。

2. [ENTER]キーを押します。

- 映像調整の初期化画面が表示されます。

3. [▼]キー／[▲]キーを使って「はい」を選択します。

4. 初期化を実行するには[ENTER]キーを、やめるには[ESC]キーを押します。

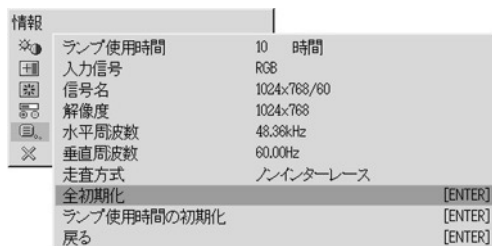
- [ENTER]キーを押すと、映像調整メインメニュー内のすべてのサブメニュー設定情報が初期化されます。

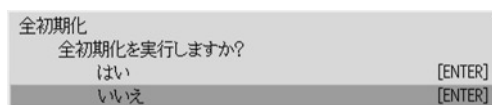
すべての設定を初期化するには

設定メニュー内のすべてのサブメニュー設定を初期化するには、以下の手順で操作を行います。

重要!

- 以下の操作を行うと、設定メニューに含まれる次の各サブメニュー項目を除いて、すべての設定情報が初期化されます。
  - パワーオンパスワードのオン／オフ設定状態（詳細設定→パワーオンパスワード）、および登録されているパスワード
  - 言語（詳細設定→高度な設定2→言語）
  - ランプ使用時間（情報→ランプ使用時間）

1. 「設定メニュー画面の基本操作」（18ページ）の手順1～6の操作を行い、続いて情報メインメニュー内のサブメニュー「全初期化」を選択します。

2. [ENTER]キーを押します。

- 全初期化の画面が表示されます。

3. [▼]キー／[▲]キーを使って「はい」を選択します。

4. 全初期化を実行するには[ENTER]キーを、やめるには[ESC]キーを押します。

- [ENTER]キーを押すと、上記の「重要！」に示した各項目を除くすべての設定情報が初期化されます。

設定メニュー項目詳細

各設定メニューごとに設定内容の詳細を説明します。

メモ

- 本節の見出しは、「メニュー→サブメニュー」という形で記載されています。

映像調整

■映像調整→明るさ

投映映像の明るさを調整します。設定値が大きいほど明るくなり、小さいほど暗くなります。

- 無信号時は設定できません。
- 入力ソース別に設定可能で、設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

■映像調整→コントラスト

投映映像のコントラスト（映像の明暗や色彩の強弱）を調整します。設定値が大きいほどコントラストが強くなり、小さいほど弱くなります。

- 無信号時は設定できません。
- 入力ソース別に設定可能で、設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

■映像調整→シャープネス

投映映像のシャープネス（映像の輪郭の強さ）を調整します。設定値が大きいほど輪郭が強調されて映像がシャープになり、小さいほど輪郭がぼやけたソフトな感じになります。

- 無信号時は設定できません。
- 入力ソース別に設定可能で、設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

■映像調整→色の濃さ

投映映像の色の濃さを調整します。設定値が大きいほど色が濃くなり、小さいほど淡くなります。

- 入力ソースがRGBの場合と無信号時は設定できません。
- 入力ソース別に設定可能で、設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

■映像調整→色合い

投映映像の色合いを調整します。設定値が大きいほど青味がかり、小さいほど赤味がかった映像となります。

- 入力ソースがRGBの場合と無信号時は設定できません。
- 入力ソース別に設定可能で、設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

■映像調整→カラーモード

投映する内容や環境に応じて、本機にプリセットされている7種類のカラー設定の中から適したものを選ぶことができます。

入力ソース別の選択項目

<table>
<tr><th>入力ソース</th><th>選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)</th></tr>
<tr><td>RGB</td><td>(プレゼンテーション)/スタンダード/グラフィックス/シアター/黒板</td></tr>
<tr><td>コンポーネント</td><td rowspan="3">プレゼンテーション/スタンダード/グラフィックス/(シアター)/黒板</td></tr>
<tr><td>S-VIDEO</td></tr>
<tr><td>VIDEO</td></tr>
<tr><td>無信号時</td><td>設定できません。</td></tr>
</table>

各選択項目の意味

プレゼンテーション ..... 明るい場所での一般的なプレゼンに適した設定です。

スタンダード .... 色表現を重視したプレゼン用の設定です。

グラフィックス .... 写真等が自然に見えるような設定です。

シアター .... 映画の暗い部分をすっきり見せる設定です。

黒板.................... 黒板投映時に見やすくした設定です。

設定値の保持

入力ソースごとに個別に保持されます。

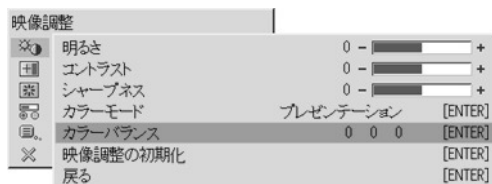
■映像調整→カラーバランス

投映画像のカラーバランスを、赤、緑、青の個々のカラー成分ごとに調整することができます。

- 無信号時は設定できません。
- 入力ソース別に設定可能で、設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

カラーバランスの調整を行うには

1. 映像調整メインメニュー内のサブメニュー「カラーバランス」を選択します。

- 「カラーバランス」サブメニュー上に、現在の各カラー成分の設定値が赤、緑、青の順に表示されます。

2. [ENTER]を押します。

- カラーバランスの設定画面が表示されます。

3. [▼]キー／[▲]を使って設定するカラー（赤／緑／青）を選択し、[◀]キー／[▶]キーを使って選択したカラーの値を変更します。

4. 設定を終了して元のサブメニューに戻るには、「戻る」にカーソルを移動し[ENTER]キーを押すか、[ESC]キーを押します。

- 設定メニューの操作を終了するには[MENU]キーを押します。

■映像調整→映像調整の初期化

映像調整メインメニュー内のすべてのサブメニュー設定を、初期状態に戻します。

- 操作手順については、「メインメニュー単位で設定を初期化するには」（☞24ページ）を参照してください。

信号調整

■信号調整→垂直位置

投映範囲に対する入力ソース映像の垂直位置を調整します。

- 入力ソースがRGBで、かつデジタルズームを使っていない場合のみ設定可能です。
- 設定値は、入力ソースごとではなく、設定を行った際の入力信号の種類(XGA/60Hz、SXGA/60Hzなど)ごとに保持されます。ただし、設定を保持できる量には限度があるため上限を超えると一番古い設定から削除されます。

■信号調整→水平位置

投映範囲に対する入力ソース映像の水平位置を調整します。

- 入力ソースがRGBで、かつデジタルズームを使っていない場合のみ設定可能です。
- 設定値の保持は、信号調整→垂直位置の場合と同様です。

■信号調整→周波数

入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、投映画面に縦帯が出る場合は、周波数が正しく設定されていません。このような場合は、信号調整→周波数を手動で設定します。

- 入力ソースがRGBで、かつデジタルズームを使っていない場合のみ設定可能です。
- 設定値は、設定を行った際の入力信号の種類(XGA/60Hz、SXGA/60Hzなど)ごとに保持されます。ただし、設定を保持できる量には限度があるため上限を超えると一番古い設定から削除されます。

重要!

- 信号調整→周波数の設定を行った結果、パソコンからの入力映像が表示できなくなった場合は、[AUTO]キーを押して一度映像の自動調整（☞7ページ）を行うことで、表示できる場合があります。

■信号調整→位相

入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、投映画面に色ずれやちらつきが出る場合は、位相が正しく設定されていません。このような場合は、信号調整→位相を手動で設定します。

- 入力ソースがRGBで、かつデジタルズームを使っていない場合のみ設定可能です。
- 設定値の保持は、信号調整→周波数の場合と同様です。

■信号調整→ノイズフィルタ

入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、投映画面のざらつきなどの「ノイズ」がある場合に、本項目の設定の変更を試してください。ノイズを低減できることがあります。

- 入力ソースがRGBで、かつデジタルズームを使っていない場合のみ設定可能です。RGB入力に対して設定が保持されます。
- 本項目の設定は電源を切るごとに初期値（標準）に戻ります。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	低 / （標準） / 高
コンポーネント	設定できません。
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

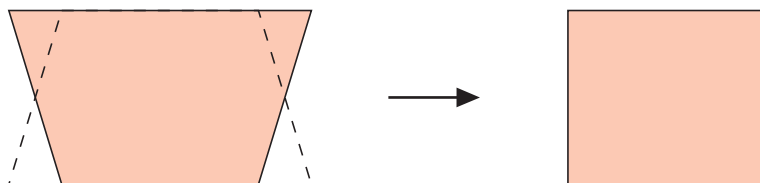
■信号調整→信号調整の初期化

位相を除く信号調整メインメニュー内のすべてのサブメニュー設定を、初期状態に戻します。

- 入力ソースがRGBで、かつデジタルズームを使っていない場合のみ実行可能です。
- 信号調整メインメニュー内の設定項目のうち、垂直位置、水平位置、周波数の各項目については、現在選択されている入力ソース単位では初期化されません。初期化実行時に投映していた信号の種類（XGA/60Hz、SXGA/60Hzなど）に対する設定情報だけが初期設定に戻ります。
- 操作手順については、「メインメニュー単位で設定を初期化するには」（☞24ページ）を参照してください。

画面設定

■画面設定→台形補正

投映映像の縦方向の台形歪みを補正します。

- 入力ソースの選択状態に関わらず設定可能です。
- 設定値は入力ソースとは無関係に保持されます。

■画面設定→アスペクト比

投映映像のアスペクト比(縦横の比率)を選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	設定できません。
コンポーネント	(4:3) / 16:9
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	設定できません。

各選択項目の意味

4:3.................. 投映時のアスペクト比を4:3(通常のテレビ画面の比率)に設定します。入力ソースがS-VIDEOまたはVIDEOの場合は、通常はこちらに設定します。

16:9................. 投映時のアスペクト比を16:9(映画やハイビジョンなどの画面比率)に設定します。入力ソースが16:9を4:3にスクイーズ(圧縮)したビデオ映像である場合は、こちらの設定にすることで、縦横比の正しい映像を投映することができます。

設定値の保持

入力ソースごとに個別に保持されます。

メモ

- 入力ソースがアスペクト比16:9のコンポーネント信号の場合は、投映時のアスペクト比は自動的に16:9に設定されます。この場合、本項目の設定は変更できません。

重要!

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機能により画面の拡大や縮小を行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

■画面設定→全画面表示

入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、本機と接続したパソコンのビデオ解像度がXGA（1024ピクセル×768ピクセル）以外の場合に、本機のビデオ解像度に合わせてパソコンからの入力画像を拡大または縮小し、本機の投映画面の全画面に表示するかどうかを設定します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	（オン） / オフ
コンポーネント	設定できません。
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン……………… 本機と接続したパソコンのビデオ解像度がXGA以外の場合、本機の投映サイズに合わせて、パソコンからの入力画像が自動的に拡大または縮小表示されます。

オフ……………… パソコンからの入力画像の拡大／縮小を行いません。パソコンからの入力画像がXGAより小さい場合は、投映サイズは相対的に小さくなります。またパソコンからの入力画像がXGAより大きい場合は、入力画像中央のXGAに収まる範囲だけが投映されます。

メモ

- 全画面表示の機能によって入力画像の拡大／縮小が行われた場合、画像が粗くなったり、画像の一部が見にくくなる場合があります。このような場合は、必要に応じて全画面表示を「オフ」に切り替えてください。（ただし、投映サイズが小さくなる場合があります。）
- XGAより大きい解像度では「オフ」の設定は無効です。

設定値の保持

RGB入力ソースの場合のみ設定可能な項目です。RGB入力に対して設定が保持されます。

■画面設定→投映方法

スクリーンの前面から投映するか、背面から投映するかを設定します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	（フロント） / リア
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

フロント .... スクリーンの正面から投映する場合に選択します。

リア.................. スクリーンの背面から投映する場合に選択します。「フロント」選択時に対して、映像の左右を反転して投映が行われます。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■画面設定→天吊投映

本機を天井から吊して設置する場合に対応するための設定項目です。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	オン / （オフ）
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン.................. 天吊投映の場合はこちらを選択します。本機の底面側が上になるように、上下左右反転して投映が行われます。

オフ.................. 机上に設置して投映する場合はこちらを選択します。本機の上面側が上になるように、投映が行われます。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

ご注意

- 天吊投映の設定をオンに切り替えると、「詳細設定→静音モード」(☞35ページ)の設定は強制的に「通常モード」に切り替わります。切り替わった後の設定状態は、再び天吊投映をオフにしても「通常モード」のままとなります。
- 天吊投映がオンに設定されている間は、静音モードの設定を切り替えることはできません。
- 天吊投映の設定をオンに切り替えると、「詳細設定→高度な設定1→自動台形補正」(☞38ページ)の設定は、強制的にオフに切り替わります。切り替わった後の設定状態は、再び天吊投映をオフにしても自動台形補正はオフのままとなります。
- 天吊投映がオンに設定されている間は、自動台形補正の設定を切り替えることはできません。
- 本機を長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 天井から吊るして使用する場合(天吊投映をオンに設定した場合)、電源プラグをコンセントから抜かないと、電源を切っても本体内部の冷却のためファンが回転したままになりますが故障ではありません。

■画面設定→画面設定の初期化

画面設定メインメニュー内のすべてのサブメニュー設定を、初期状態に戻します。

- 初期化の実行は無信号時も可能です（無信号時は、選択している入力ソースに対する初期化となります）。
- 初期化の実行時に選択されていた入力ソースに対する設定が、初期化の対象となります。ただし、以下の各設定項目については、選択されていた入力ソースとは無関係に初期化されます。
  台形補正
  投映方法
  天吊投映
- 操作手順については、「メインメニュー単位で設定を初期化するには」（☞24ページ）を参照してください。

メモ

- 詳細設定→高度な設定1→自動台形補正がオンに設定されている場合は、初期化の実行後に自動台形補正が行われ、台形補正の値は補正された値になります。

詳細設定

■詳細設定→音量

本機のスピーカーから出力する音量を調節します。本設定項目は、リモコンの[VOL ＋/－]キーによる音量設定と連動します。

- 無信号時は、現在選択されている入力ソースに対する設定となります。
- 設定値は入力ソースごとに個別に保持されます。

■詳細設定→ポインター

[POINTER/SELECT]キーを押したときに最初に表示されるポインターの種類を選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	（矢印1）/矢印2/矢印3/バー1/バー2/バー3
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■詳細設定→静音モード

投映する際の輝度を下げることで放熱用のファンの回転数を下げ、音を静かにすることができます。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	（通常モード） / 静音モード
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

通常モード .... 通常の輝度による投映が行われます。

静音モード .... 投映する輝度を下げると同時にファンの回転数を下げ、通常モードよりも音を静かにします。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

ご注意

- 「画面設定→天吊投映」（☞33ページ）の設定をオンに切り替えると、静音モードの設定は強制的に「通常モード」に切り替わります。切り替わった後の設定状態は、再び天吊投映をオフにしても「通常モード」のままとなります。
- 天吊投映がオンに設定されている間は、静音モードの設定を切り替えることはできません。

■詳細設定→パワーオンパスワード、パスワードの変更

指定されたパスワードを入力するまでは、本機の操作を無効にすることができます。パスワード機能については、補足情報「パスワード機能について」（☞49ページ）もご覧ください。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	オン / （オフ）
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン.................. 電源を入れた際に指定したパスワードの入力を要求されます。

オフ.................. パスワードを入力せずに操作することができます。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

工場出荷時のパスワード

工場出荷時は、下記のパスワード（8キー）が登録されています。

[▲][▶][▼][◀][▲][▼][◀][▶]

重要!

- 本機ではパスワードを、リモコンにあるカーソルキーの組み合わせ（入力順）で設定します。
- パスワードは早めに変更してください。
- パスワードは、リモコンからしか入力できません。パスワードを設定してリモコンを持ち歩くことで、安全性をより高めることができます。
- パスワードを忘れてしまった場合は、「ご自分のパスワードを忘れてしまった場合には」（☞49ページ）をご覧ください。

パスワード入力ダイアログでの入力操作について

以下の場合には、「パスワード入力ダイアログ」が表示されます。

- パワーオンパスワードをオンに設定した状態で、電源を入れる場合。
- パワーオンパスワードのオン／オフを切り替える場合。
- パスワードを変更する場合。

パスワードを入力して、[ENTER]キーを押してください。

このダイアログでは、リモコンのキーを各桁に入力します。入力は、次の要領で行います。

- カーソルが点滅している桁が、現在の入力対象の桁です。ダイアログが表示された時点では、常に一番左側の桁のカーソルが点滅しています。
- パスワードを入力するには、リモコンのカーソルキーを使用します。
- リモコンのキーが入力されると「■」が表示され、1つ右の桁のカーソルが点滅し、その桁が入力対象となります。
- パスワードは1桁から8桁以内なら何桁でも構いません。
- 必要な桁数を入力後、[ENTER]キーを押します。
- 全桁をクリアして最初から入力し直すには、[ESC]キーを押します。

パワーオンパスワードのオン／オフを切り替えるには

1. 「設定メニュー画面の基本操作」（18ページ）の手順1～6の操作を行い、続いて詳細設定メインメニュー内のサブメニュー「パワーオンパスワード」を選択します。

2. [ENTER]キーを押します。

- パスワード入力ダイアログが表示されます。

3. 設定されているパスワードを入力します。
- ご購入後パスワードを１度も変更していない場合は、[▲][▶][▼][◀][▲][▼][◀][▶](工場出荷時のパスワード)を入力します。
- 入力方法については「パスワード入力ダイアログでの入力操作について」(☞36ページ)を参照してください。

4. [ENTER]キーを押します。
- 入力したパスワードが登録されているパスワードと異なる場合、「パスワードが正しくありません。」というメッセージが表示されます。[ENTER]キーを押して、手順3からやり直してください。
- 入力したパスワードが登録されているパスワードと一致した場合は、「正しいパスワードが入力されました。」というメッセージが表示されます。[ENTER]キーを押して、次の手順に進んでください。

5. [▲]キー/[▼]キーを使って、オン／オフを切り替えます。

6. [ENTER]キーを押します。

パワーオンパスワードを変更するには

1. 「設定メニュー画面の基本操作」(18ページ)の手順１〜6の操作を行い、続いて詳細設定メインメニュー内のサブメニュー「パスワードの変更」を選択します。

2. [ENTER]キーを押します。
- パスワード入力ダイアログが表示されます。

3. 設定されているパスワードを入力します。
- ご購入後パスワードを１度も変更していない場合は、[▲][▶][▼][◀][▲][▼][◀][▶](工場出荷時のパスワード)を入力します。
- 入力方法については「パスワード入力ダイアログでの入力操作について」(☞36ページ)を参照してください。

4. [ENTER]キーを押します。
- 入力したパスワードが登録されているパスワードと異なる場合、「パスワードが正しくありません。」というメッセージが表示されます。[ENTER]キーを押して、手順3からやり直してください。
- 入力したパスワードが登録されているパスワードと一致した場合は、「正しいパスワードが入力されました。」というメッセージが表示されます。[ENTER]キーを押して、次の手順に進んでください。

5. 新しいパスワードを入力して、[ENTER]キーを押します。
- 再びパスワードの入力ダイアログが表示されます。

6. 手順5で入力したパスワードを再度入力し、[ENTER]キーを押します。

- 「新しいパスワードが登録されました」というメッセージを確認し、[ENTER]キーを押してください。
- もしここで再入力したパスワードが、手順5で入力したパスワードと一致しない場合は、「入力されたパスワードが異なります。新しいパスワードを最初から入力してください。」というメッセージが表示されます。[ENTER]キーを押すと新しいパスワードの入力ダイアログが再表示されますので、手順５からやり直してください。

■詳細設定→高度な設定1→自動入力検索

電源を入れた際に入力ソースの自動検索（☞5ページ）を実行するかどうかを選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	（オン） / オフ
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン. . . . . 電源を入れた際に入力ソースの自動検索を実行します。
オフ. . . . . 電源を入れた際に入力ソースの自動検索を実行しません。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■詳細設定→高度な設定1→自動台形補正

本機の設置角度の変更時に自動台形補正（☞8ページ）を実行するかどうかを選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目（かっこ付きの項目は初期設定）
RGB	（オン） / オフ
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン. . . . . 本機の設置角度の変更時に自動台形補正を実行します。
オフ. . . . . 本機の設置角度の変更時に自動台形補正を実行しません。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

ご注意

- 「画面設定→天吊投映」（☞33ページ）の設定をオンに切り替えると、自動台形補正の設定は、強制的にオフに切り替わります。切り替わった後の設定状態は、再び天吊投映をオフにしても自動台形補正はオフのままとなります。
- 天吊投映がオンに設定されている間は、自動台形補正の設定を切り替えることはできません。

■詳細設定→高度な設定1→自動調整

RGB入力選択時の自動調整(☞7ページ)を実行するかどうかを選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	(オン) / オフ
コンポーネント	設定できません。
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	(オン) / オフ ※入力ソースとしてRGB入力が選択されている場合のみ、設定可能です。

各選択項目の意味

オン.................. RGB入力選択時に自動調整を実行します。

オフ.................. 自動調整を実行しません。

設定値の保持

RGB入力に対する設定として保持されます(その他の入力ソースには無関係です)。

■詳細設定→高度な設定1→メッセージ表示

投映画面上に次の情報を表示するか、しないかを選択します。

●入力信号名
●サーチ中のメッセージ表示
●自動台形補正が実行された際のメッセージ表示

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	(オン) / オフ
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン.................. 情報の表示を行います。

オフ.................. 情報の表示を行いません。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■詳細設定→高度な設定1→スタート画面

本機の電源を入れたときに最初に投映される「スタート画面」を表示するか設定します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	オン / (オフ)
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン………………スタート画面が表示されます。

オフ………………スタート画面が表示されません。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■詳細設定→高度な設定1→無信号時画面

本機への入力信号がない場合に表示される画面を設定します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	ブルー / (ブラック)
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

ブルー ……………入力信号がない場合に、青色の画面が投映されます。

ブラック …………入力信号がない場合に、黒色の画面が投映されます。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■詳細設定→高度な設定2→オートパワーオフ

オートパワーオフ(取扱説明書(基本編)の「電源を切る」参照)の有効／無効を選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	(オン) / オフ
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

各選択項目の意味

オン.................. オートパワーオフを有効にします。

オフ.................. オートパワーオフを無効にします。

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

■詳細設定→高度な設定2→RGB入力

本機のRGB入力端子に接続する機器に応じた入力信号の種類を選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	(自動) / RGB / コンポーネント
コンポーネント	
S-VIDEO	設定できません。
VIDEO	
無信号時	(自動) / RGB / コンポーネント ※入力ソースとして「RGB/コンポーネント」が選択されている場合のみ、設定可能です。

各選択項目の意味

自動.................. RGB入力端子への入力信号を判断し、自動的にRGBとコンポーネントの間で切り替えを行います。

RGB .... RGB入力端子とパソコンを接続する場合に選択します。接続について詳しくは、取扱説明書(基本編)の「パソコンとの接続」を参照してください。

コンポーネント .... 別売品のコンポーネントビデオケーブル(YK-3)を使って、RGB入力端子とビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子を接続する場合に選択します。接続について詳しくは、「コンポーネントビデオ出力との接続について」(☞47ページ)を参照してください。

設定値の保持

RGB入力とコンポーネント入力に共通の設定として保持されます(その他の入力ソースには無関係です)。

■詳細設定→高度な設定2→ビデオ信号、Sビデオ信号

本機のVIDEO、S-VIDEO入力端子に接続する機器に応じた入力信号の種類を選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	設定できません。
コンポーネント	
S-VIDEO	(自動) / NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM
VIDEO	
無信号時	(自動) / NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM ※入力ソースとして「VIDEO」「S-VIDEO」が選択されている場合のみ、設定可能です。

各選択項目の意味

自動.................. VIDEO、S-VIDEOの入力端子に接続されているビデオ機器からの入力信号を本機が自動的に判別し、適切なビデオ方式が設定されます。通常はこの選択項目を選択します。

その他の選択項目 ..... それぞれ特定のビデオ方式を表しています。VIDEO、S-VIDEO入力に対して特定のビデオ方式を指定する場合に選択します。

設定値の保持

VIDEO、S-VIDEOの入力に対する設定として保持されます。

■詳細設定→高度な設定2→画質補正1/画質補正2

画質補正は、台形補正を行った際の投映画像の見やすさを向上させる場合があります。どの設定でより見やすい画像が得られるかは、投映する内容や投映を行う環境によって、変わりますので、より良い画質が得られる設定を画質補正1、画質補正2の各々で選択してください。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目(かっこ付きの項目は初期設定)
RGB	オン / (オフ)
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	設定できません。

■詳細設定→高度な設定2→言語

本機の投映画面上に表示されるメッセージや設定メニュー画面などの表示言語を選択します。

入力ソース別の選択項目

入力ソース	選択項目
RGB	英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/スウェーデン語/中国語(簡体字)/中国語(繁体字)/韓国語/日本語
コンポーネント	
S-VIDEO	
VIDEO	
無信号時	

設定値の保持

選択した設定は、入力ソースとは無関係に保持されます。

メモ

- この設定は、本機の電源を初めて入れた際に初期設定した表示言語の変更です。
  取扱説明書(基本編)の「電源を入れる」を参照してください。

■詳細設定→詳細設定の初期化

詳細設定メインメニュー内のパワーオンパスワードのオン/オフ設定状態(詳細設定→パワーオンパスワード)、登録されているパスワード、および言語(詳細設定→高度な設定2→言語)を除いたすべてのサブメニュー設定を、初期状態に戻します。

- 初期化の実行は無信号時も可能です(無信号時は、選択している入力ソースに対する初期化となります)。
- 設定項目の「自動調整」は、入力ソースとしてRGB入力が選択されている場合に限り、初期化の対象となります。その他の各設定項目については、選択されている入力ソースとは無関係にすべて初期化されます。
- 操作手順については、「メインメニュー単位で設定を初期化するには」(☞24ページ)を参照してください。

情報

■情報→ランプ使用時間

現在のランプの使用累積時間が表示されます。
表示されるランプ使用時間はランプ交換の目安となります。ランプの交換について詳しくは、取扱説明書（基本編）の「ランプの交換について」を参照してください。

■情報→入力信号

現在選択されている入力信号（RGB/コンポーネント/Sビデオ/ビデオのいずれか）が表示されます。また、入力信号がない場合は「----」と表示されます。

■情報→信号名

本機への入力信号の信号名が表示されます。表示される信号名については「表示可能な信号について」（☞55ページ）の「信号名」をご参照ください。

■情報→解像度

現在選択されている入力信号がRGBの場合のみ表示される項目です。RGB入力信号の解像度が縦横のピクセル数で表示されます。

■情報→水平周波数

現在選択されている入力信号がRGB、コンポーネント、S-VIDEO、VIDEOの場合、表示される項目です。入力信号の水平周波数が表示されます。

■情報→垂直周波数

現在選択されている入力信号がRGB、コンポーネント、S-VIDEO、VIDEOの場合、表示される項目です。入力信号の垂直周波数が表示されます。

■情報→走査方式

現在選択されている入力信号がRGBまたはコンポーネントの場合のみ表示される項目で、入力信号の走査方式が表示されます。入力信号がRGBの場合はインターレース／ノンインターレースのいずれか、コンポーネントの場合はインターレース／プログレッシブのいずれかとなります。

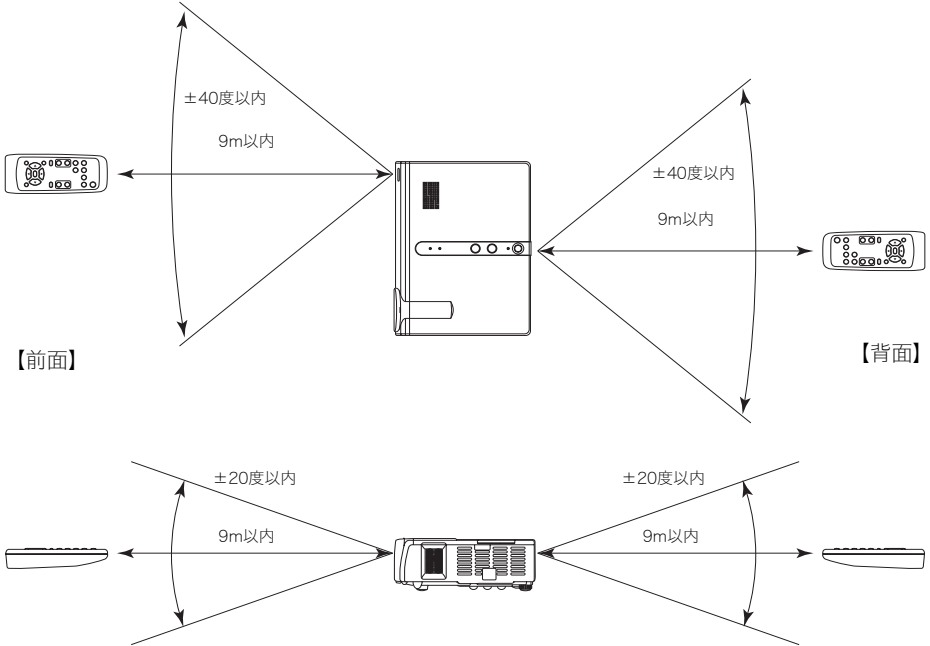
■情報→全初期化

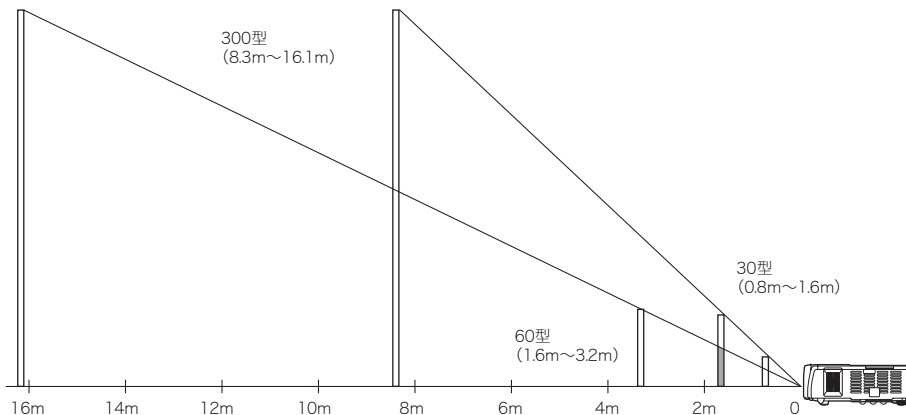
設定メニュー内の、パワーオンパスワードのオン／オフ設定状態（詳細設定→パワーオンパスワード）、登録されているパスワード、言語（詳細設定→高度な設定2→言語）およびランプ使用時間情報（情報→ランプ使用時間）を除いたすべてのサブメニュー設定を初期状態に戻します。入力ソースの選択状態、入力信号の有無に関わらず実行が可能です。
全初期化の操作手順については、「すべての設定を初期化するには」（☞25ページ）を参照してください。

■情報→ランプ使用時間の初期化

ランプの交換後に、これまでのランプの使用累積時間を初期化します（0時間に設定します）。ランプの交換およびランプ使用時間の初期化の操作については、取扱説明書（基本編）の「ランプの交換について」を参照してください。

リモコンの利用可能範囲について

リモコンは、本体の前面／背面にあるリモコン受光部に向けて操作を行います。リモコンの利用可能範囲は下図の通りです。

投映可能な距離とサイズについて

- 投映可能な距離は、本機の投映レンズからスクリーンまでの距離が0.8m～16.1mの範囲です。

距離に応じた投映可能サイズは、下表の通りです。

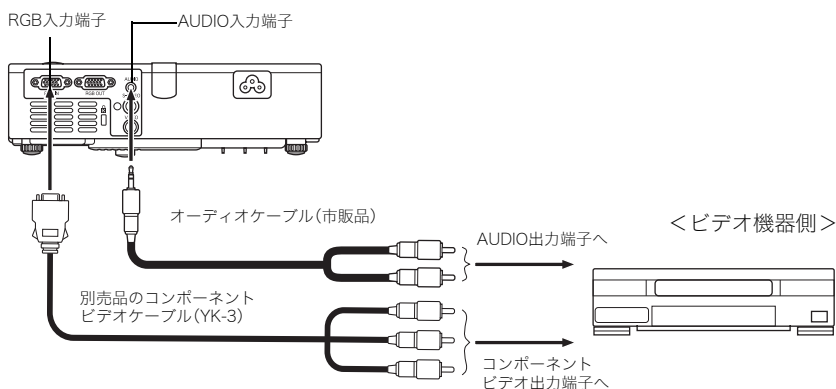
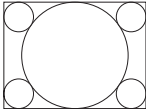
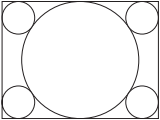
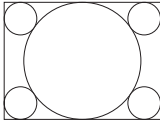
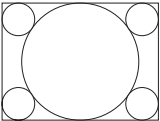
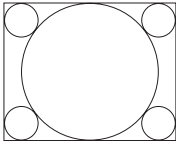
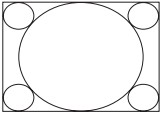
投映サイズ		投映距離(約)	
型	対角線サイズ(cm)	最短距離(m)	最長距離(m)
30	76	0.8	1.6
40	102	1.1	2.1
60	152	1.6	3.2
80	203	2.2	4.3
100	254	2.7	5.3
120	305	3.3	6.4
150	381	4.1	8.0
200	508	5.5	10.6
250	635	6.9	13.4
300	762	8.3	16.1

- 投映距離は設置の目安です。

コンポーネントビデオ出力との接続について

一部のビデオ機器は「コンポーネントビデオ出力端子」を備えています。別売品のコンポーネントビデオケーブル（YK-3）を使って、ビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子と本機のRGB入力端子を接続することができます。

重要!

- 接続する際は、本機とビデオ機器の電源を切った状態で行ってください。

- コンポーネントビデオ出力端子は、「Y・Cb・Cr」または「Y・Pb・Pr」の3つで1セットとなっています。別売品のコンポーネントビデオケーブル（YK-3）の3つのプラグの色と端子側の色が合うように接続してください（緑-Y 、青-Cb/Pb、赤-Cr/Pr）。
- 別売品のコンポーネントビデオケーブル（YK-3）を使って、ピンジャック（RCA）タイプのコンポーネントビデオ出力端子と接続することができます。その他の形状の端子には対応しておりませんので、ご注意ください。
- 接続が可能なのは、アナログのコンポーネントビデオ出力端子です。デジタル出力端子には対応しておりません。

RGB入力の映像の全画面表示について

本機の映像出力時のビデオ解像度はXGA（1024ピクセル×768ピクセル）です。本機と接続したパソコンからの入力信号がXGA以外の場合、パソコンからの入力画像は本機のビデオ解像度に合わせて自動的に拡大または縮小され、本機の投映画面の全体に表示されます。この機能を「全画面表示」と呼びます。パソコンから本機への入力信号に応じて、本機の投映画面は次のようになります。

入力信号例	本機の投映画面
800 × 600	
1024 × 768	
1280 × 1024	入力信号の解像度が1280×1024（アスペクト比5：4）の場合、投映画面の解像度1024×768（アスペクト比4：3）に合わせて元の映像が縮小されます。この結果、投映画面は元の映像よりも横方向が若干広がって見えます。

メモ

- 全画面表示の機能によって入力画像の拡大／縮小が行われた場合、画像が粗くなったり、画像の一部が見にくくなる場合があります。このような場合は、必要に応じて全画面表示を「オフ」に切り替えてください。詳しくは「画面設定→全画面表示」（☞32ページ）の項目を参照してください。

パスワード機能について

パスワード機能のご利用にあたり

本製品のパスワード機能により、プロジェクター所有者以外の者による不正使用を防止できます。<u>盗難を防止する機能ではありません。</u>あらかじめご了承ください。

工場出荷時は、あらかじめパスワード（8キー）が登録されています。パスワード機能を使う時、初回は「詳細設定→パワーオンパスワード、パスワードの変更」（☞35ページ）に記載されている工場出荷時のパスワードを入力します。その後は、なるべく早くご自分のパスワードに変更してください。

パスワードはリモコンを操作して入力しますので、リモコンを紛失しないようにご注意ください。

リモコンの電池がなくなるとパスワードの入力ができなくなります。リモコンの電池が消耗したら、早めにリモコンの電池を交換してください。

ご自分のパスワードを忘れてしまった場合には

万一、設定したパスワードを忘れてしまうと、本製品が使用できなくなります。この場合、次の2点を最寄のカシオテクノ・サービスステーションにご持参の上、パスワードの解除をご依頼ください（所定の解除手数料を申し受けます）。

1. 身分証明書（社員証や運転免許証など。コピー可）
2. プロジェクター本体

身分証明書・プロジェクター本体の2点がそろっていない場合、パスワードを解除することができません。あらかじめご了承ください。
なお、保証書も紛失しないように、大切に保管してください。

重要!

- ご依頼によりパスワードを解除した場合、ランプ使用時間を除き、各種の設定がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

パスワード控えのおすすめ

設定したパスワードを忘れてしまうと、本製品を使うことができなくなってしまいます。パスワードを忘れてしまった場合に備えて、メモなどにパスワードを控え大切に保管してください。

クリーニングについて

重要!

- 本機のクリーニングは、必ず本機が十分に放熱した状態で行ってください。本機の電源が入っている場合は、クリーニング前に必ず次の操作を行ってください。

1. 本機の電源を切る。
2. POWER／STANDBYインジケーターがオレンジ色点灯に変わったのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントから抜き、約60分以上放熱させる。

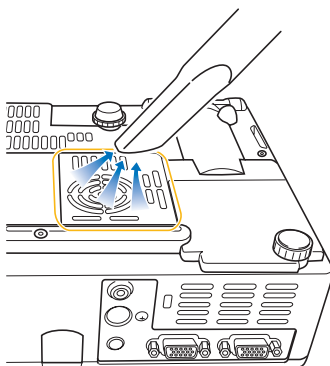
本機外部のクリーニング

本機外部をクリーニングする際は、柔らかな布を薄い中性洗剤に浸し、固くしぼって拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。

レンズのクリーニング

市販のメガネ拭き用のクロスやクリーニングペーパーなどを使って拭いてください。なお、クリーニング時にレンズを傷つけないようご注意ください。

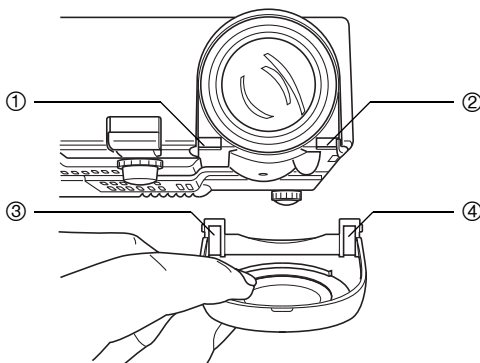
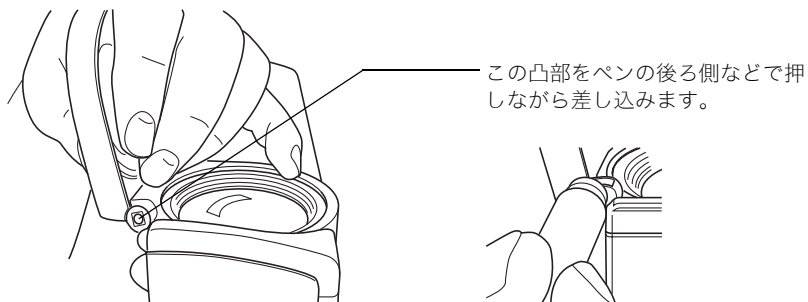
吸気口／排気口のクリーニング

底面の吸気口にはゴミやほこりがたまりやすいので、下図のように電気掃除機を使い、時々ていねいに吸い取ってください。なお電気掃除機の吸引力は一番弱くしてください。

- 吸気口にほこりがたまったままで本機をご使用になると、本機内部の温度が過度に上昇し、故障の原因となります。
- ご使用の環境によっては、側面など他の吸気口や排気口にもほこりやゴミがたまることがあります。このような場合は、底面の吸気口と同様にクリーニングしてください。

レンズカバーが外れてしまったら

レンズカバーが外れてしまった場合は、以下の手順で取り付けてください。

1. レンズカバーの左側の凸部（③の部分）を、本体の左側の留め爪の凹部（①の部分）に差し込みます。

- 本体の前面に対して、レンズカバーが90度以上開いた状態で差し込んでください。

2. レンズカバーを90度以上開いた状態で、今度はレンズカバー右側の凸部（④の部分）をペンの後ろ側などを使って軽く押しながら、本体の右側の留め爪の凹部（②の部分）に差し込みます。

● レンズカバーを取り付ける際は、必ずレンズカバーを 90 度以上開いた状態(左下図)で行ってください。レンズカバーを90度よりも閉じた状態(右下図)で取り付けてしまうと、レンズカバーが正しく開閉しなかったり、破損する恐れがあります。

本機のトラブルと対処について

本機の使用中に何らかのトラブルが発生した場合は、故障とお思いになる前に、以下をご確認ください。

現象	原因と対処	参照先
[⏻]（電源）キーを押しても電源が入らない	POWER/STANDBYインジケーターが点灯していない場合は、電源コードが正しく接続されていません。 → 電源コードを本機とコンセントにしっかり接続してください（「電源を入れる」参照）。	取扱説明書（基本編）
	TEMPまたはLAMPインジケーターが点滅（点灯）し続けたまま消灯しない場合は、何らかのエラーが発生しています。 →「インジケーター表示と警告音について」の「エラー状態発生時のインジケーター表示」を参照してください。	取扱説明書（基本編）
接続している機器からの映像が投映されない	本機と接続しているパソコンやビデオ機器側の電源が入っていなかったり、ビデオ信号が出ていないことが考えられます。 → 接続しているパソコンやビデオ機器の電源が入っており、正常に動作していることをご確認ください。	―
	正しい入力ソースが選択されていないことが考えられます。 → 本機に接続している機器に合わせて入力ソースを正しく選択してください。	6ページ
コンポーネント接続した機器からの映像が正しく投映されない	ビデオ機器のコンポーネント出力端子と本機のRGB端子を接続した場合、ビデオ機器によっては、映像が正しく投映されない場合があります。 → 本機のVIDEO入力端子または、S-VIDEO入力端子をご使用ください（「一般的なビデオ機器との接続」参照）。	取扱説明書（基本編）
RGB/コンポーネント選択時に、投映された映像の色や表示が極端にずれている	設定メニューの「詳細設定→高度な設定2→RGB入力」の設定が、本機のRGB入力端子に接続されている機器に合った設定になっていないことが考えられます。 → 設定メニューの「詳細設定→高度な設定2→RGB入力」の設定を切り替えてください。	41ページ
投映画像が乱れる	入力ソースに対応したリモコンのキー（[RGB/COMPONENT]、[VIDEO]、[S-VIDEO]）または[AUTO]キーを押してください。	7ページ
[D-ZOOM]キーにより投映画像を拡大すると、画像が乱れる	[D-ZOOM] キーにより投映画像を拡大する場合、投映信号の種類や拡大の倍率などにより、画像が乱れることがあります。 → 拡大の倍率を変えてご使用ください。	12ページ

現象	原因と対処	参照先
画面の縦横比が大きく変化する	RGB入力の場合に[AUTO]キーなどで自動調整を行うと、スライドショーや動画再生などの投映内容によっては画面の縦横比を変化させて大きく投映する場合があります。 ➔ 元に戻したいときは、「詳細設定→高度な設定１→自動調整」の設定をオフにし、続けて[RGB/COMPONENT]キーを押してください。	39ページ
ブルーの画面が表示される	パソコンが高解像度に設定されていると、使用環境によってはブルーの画面が表示されることがあります。 ➔ 1024×768/60Hzに設定してください。	ー
リモコンで操作できない	リモコンの乾電池が消耗していることが考えられます。 ➔ 乾電池を交換してください（「リモコンに乾電池を入れる」参照）。	取扱説明書（基本編）
	リモコンの操作可能範囲外で操作していることが考えられます。 ➔ 操作可能範囲内から操作してください。	45ページ
TEMPまたはLAMPインジケーターが点滅（点灯）している	➔ 「インジケーター表示と警告音について」の「エラー状態発生時のインジケーター表示」を参照してください。	取扱説明書（基本編）
「ランプの交換時期です…」というメッセージが表示された	ランプの交換時期です。 ➔ ランプの交換を行ってください（「ランプの交換について」参照）。	取扱説明書（基本編）
「ランプ寿命を超過しています…」というメッセージが表示された	ランプ寿命を超過しており、本機の電源が入らない状態です。 ➔ ランプの交換を行ってください（「ランプの交換について」参照）。	取扱説明書（基本編）

重要!

- 以下の操作により正常に戻る場合がありますのでお試しください。
  1. [⏻]（電源）キーを押し、表示の指示に従い電源を切ってください。
  2. クールダウン後、ファンが完全に止まってから電源コードを取り外してください。
  3. 電源コードを接続して、再度電源を入れてください。

  ※[⏻]（電源）キーを押しても電源オフの確認メッセージが表示されない場合には、電源コードを取り外し10分以上放置後、電源コードを接続して、再度電源を入れてください。

  この操作を行っても、動作が正常に戻らないときは、お買い上げの販売店または最寄のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

表示可能な信号について

RGB信号

	信号名	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
VESA	640 × 350/85	640 × 350	37.9	85
	640 × 400/85	640 × 400	37.9	85
	720 × 400/85	720 × 400	37.9	85
	640 × 480/60	640 × 480	31.5	60
	640 × 480/72	640 × 480	37.9	73
	640 × 480/75	640 × 480	37.5	75
	640 × 480/85	640 × 480	43.3	85
	800 × 600/56	800 × 600	35.2	56
	800 × 600/60	800 × 600	37.9	60
	800 × 600/72	800 × 600	48.1	72
	800 × 600/75	800 × 600	46.9	75
	800 × 600/85	800 × 600	53.7	85
	1024 × 768/60	1024 × 768	48.4	60
	1024 × 768/70	1024 × 768	56.5	70
	1024 × 768/75	1024 × 768	60.0	75
	1024 × 768/85	1024 × 768	68.7	85
	1152 × 864/75	1152 × 864	67.5	75
	1280 × 960/60	1280 × 960	60.0	60
	1280 × 1024/60	1280 × 1024	64.0	60
APPLE	640 × 480/67M13	640 × 480	35.0	67
	832 × 624/75M16	832 × 624	49.7	75
	1024 × 768/75M19	1024 × 768	60.2	75
NEC	640 × 400/56	640 × 400	24.8	56

コンポーネント信号

	信号名	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
HDTV	1080i60	33.7	60
	720p60	45.0	60
SDTV	576p50	31.3	50
	576i50	16.6	50
	480p60	31.5	60
	480i60	15.7	60

ビデオ／Sビデオ信号

信号名	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
NTSC	15.7	60
NTSC4.43	15.7	60
PAL	15.6	50
PAL-M	15.7	60
PAL-N	15.6	50
PAL60	15.7	60
SECAM	15.6	50

※上記の表に記載されていても、機種によっては、正しく表示されない場合があります。
※“640×350/85”の信号が入力された場合、メニューの“情報”の項目には、“640×400/85”の“情報”の内容が記載されます。